

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【1年生】

【 丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の概要 】

○本校1年生の全体的な状況（生活習慣状況調査より）

- どの設問項目においても、肯定的な回答をしている生徒がたいへん多く、おおむね良好な結果が見られました。
- 「家族/友だち/先生の支え」の設問では、「家の人のはかけがえのない存在」、「家は心のやすらぐ場所」だと90%の生徒が肯定的に答え、家族から愛されていると感じています。また、「がんばった時にほめてくれる友だちがいる」、「つらかったとき、くやしかったとき、友だちから優しい言葉をかけてもらった」と95%の生徒が答え、友だちから支えてもらっていることを強く感じています。逆に、「つらいことやこまったことがあったとき、何でも本音で相談できる友だちがいますか」という設問で、全国平均より少し下回っていました。
- 学級の絆の項目では、「今のクラスが好き」、「クラスは盛り上がりて団結します」、「誰かが困っているときにはみんなでその人を助けて励ましてあげようとする雰囲気がある」と肯定率100%でした。
- 「学校の規則やクラスで話し合っただけで決めたことを守っている」、「人に迷惑をかけないように気を付けている」の項目で肯定率97%に達しており、規範意識が高い生徒がかなり多いです。

○各教科の課題と対応（市学力調査より）

国語

全体の正答率は、全国平均とほぼ同等でした。自分の意見を書く作文問題には、意欲的に取り組めており、「主体的に学びに向かう力」の観点では、目標値・全国平均を上回っています。漢字、語句、文法の知識に関する問題と聞き取り問題は、正答率がやや低く今後の課題だと言えます。学習意欲は高いため、今後、基礎基本である知識分野を克服することで、さらに伸びていくと思われます。これからの中学校の学習の中で、まず漢字・語句・言葉の知識を増やす学習に力を入れ、漢字・語句の力をつけていきたいと考えています。また、正確に集中して聞くことを意識させながら、学習を進めていきたいと思いをします。

数学

全体の正答率は、全国平均とほぼ同等でした。領域別には、「データの活用」では平均を上回り、「数と計算」では平均的、「図形」と「変化と関係」では課題が見つかりました。場合の数やグラフを読み取る内容には良好な結果が見られました。「単位量あたりの値を求める式がどのような大きさを求める式」であるかを説明する記述の際には、誤答や無回答の生徒が多かったです。今後、思考・判断・表現の力を伸ばすため、図形の性質や式の意味、単位の大切さが理解できる内容を大切に取り組みます。

○保護者のみなさまへ

ほとんどの生徒が、家族のことを信頼し、支えられ愛されていると感じているということが分かりました。この支えがあるからこそ、様々なことに前向きに活動できるのだと感じます。また、規範意識が高く、仲間から支えられていることも強く感じられています。今後も、「つらいことやこまったことがあったとき」に自分から周りの人を頼ってよいことを伝え、さらに豊かな人間関係の構築に努めていきたいと考えています。また、学校行事や生活の中で成功体験を積み、自己肯定感を育てつつ、さらなる成長につなげていきたいと考えています。今後も、ご家庭でのご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

ただ、自分で朝起きていない生徒の割合が全国平均をやや下回っています。また、友だちとのメールやSNS（LINEなど）でのやりとりが全国平均よりやや多く、頻繁である傾向があります。SNSの使い方や時間につきまして、学校でも指導を継続しますが、家庭でもルールづくりや、ルールの再確認をよろしくお願ひいたします。